

西浦地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月24日（月） 午後6時～7時30分

【場所】 西浦公民館 集会室

【出席者】 西浦地域住民ほか 計54名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

3月議会で現庁舎敷地での基本構想・基本計画案を作るべき、今の案と併せ2本の案をもって市民の意見を聞いたかどうかという決議が全会一致で可決された。これをどのように受け止め、どういう行動を起こそうとしているか。

◆質問者2

昨年の議会報告会でこの話があったが、現有地敷地の議会棟を残す案は60億、北での建替えが120億であった。これが今回は現有地で87億、北が118億、現有地が上がって、北が下がっているのは疑問。

北の場合、民有地をわざわざ買って、固定資産税が飛んでいくことは疑問で、将来的に我々の固定資産税の税率に反映したらやばいので、私は議会棟を残す案を主張する。

●庁舎建設室長

先週も庁内会議で議会の決議について話し合ったが、結論は出ていない。今週で地域を回り切るので、対応を決めていきたい。

議会報告会での数字については、私たちは関知していないところ。固定資産税は税収の基軸であり、気にはしているが、そういうことも考えながら検討していきたい。

●市長

現有地を活用して駅北とどちらがいいかを市民にわかりやすく説明したらいいという議会の決議は、そのとおりに検討に入る場合、今、示している案くらいの形であったとしても、かなり予算と月日がかかるのではないかと。今日の資料の4ページの上にある程度の絵図面ならば、そんなに難しいことではないと思っている。私ども行政体としては、検討委員会でご協議いただいて方針が示されたことについて、軽々に扱うことは許されず、提示いただいた判断について肉付けをしながら説明に上がっている。これはこれとして、現有地の案を直ちに示していくということは、行政体としては、折角、練りに練

っていただいたものをしっかり市民の皆様にご得心いただけるよう説明し、ご意見をいただいて、参考にして対処することが肝要。

現有地と駅北の差が大きいということは、土地を買い取っていかなければならない、道路を広げなければならぬなど、駅北の場合には課題が出てくるのは止むを得ない。現有地の場合には、仮庁舎を作り、引越しし、庁舎ができたならまた引越ししという経費も当然かかってくる。別のところに作るのであれば、手間は随分削減される。固定資産税等々、市民の皆様にご負担が跳ね返ってくる懸念については、そのようなことのないようにしていくことが大事。駅北、駅南には30年間でおよそ500億円位を投入してきた。まちづくりに賭けた先人のご苦勞、投資をしっかりと伝えていく責務がある。ひとつの大きなプロジェクトが街中で行われることをまちづくりに資していくことが大切。

◆質問者 1

今聞いた限りでは、議会が全会一致で決めたことをやりそうにない。それはおかしい。時間をかけてでもじっくり計画を練るのが筋。

◆質問者 3

図書館をよく利用するが、ルルサスの中にあり、立体駐車場は大変。重たい本を持って長い距離を歩く。駅北で民間活力をと言うが、ルルサスの例があるのでよく考えて計画して欲しい。現庁舎には馴染んでいて、広いし、車を置くのも便利。現庁舎の案は是非作って欲しい。

◆質問者 4

耐震性がないということでの建替えであれば、駅北は現庁舎に比べて耐震性が高いのか。あすこは佐波川の伏流水が流れているので、コンクリートパイルを打つにしてもかなり深く打たないと液状化現象が起こる。そういうところも考えて、この案を出しているか。桑山の現庁舎のところは、ある程度岩盤があるらしい。そこをよく考えて欲しい。

◆質問者 5

西浦の人は、図書館は山口とか秋穂に行く。新聞を読んだら終わり、お金が発生する。戸籍は防府で取らないといけないので、市役所は山口市には行けない。もうちょっと考えて欲しい。

◆質問者 6

駅北と現庁舎を比較して、まず交通網。現庁舎は非常に整備されており、東西南北に行ける。駅北は駅という行き止まりがある。現庁舎に是非建替えて欲しい。

駅北にすれば、かなりの金額が上回り、防府は差押の件数も多く、生活も苦しい中で、これだけの大きな金額のものを作るのはもったいない。もっと生活に関するところできちっとお金を使って欲しい。

●庁舎建設室長

現庁舎の計画を時間をかけてでも練るべきだというご意見は、持ち帰って考えさせて

いただく。図書館の件は、立体駐車場では遠いということはあるだろう。返却などでは工夫できるだろうが、そうした声があるということは担当課にも伝えたい。

ルルサスの店舗は、最近に通販なども流行っていて、物品販売は難しいところがある。物販で全てを埋めるのは難しいという前提で考えていかななくてはいけないだろう。

現在地に馴染みがあるということについては、ごもっともなご意見である。

土地の液状化に関しては、駅北はボーリング調査などはしていない。現庁舎はボーリング調査をしているので大体はつかまえているが、少し軟弱地盤がある。

図書館の実態、利便性に問題があるというお話だったかと思うが、その辺も伝えて検証させていきたい。

交通網については、車を前提とせず歩いて暮らせるというようなことも言っているが、車がないと困る方もいるので、配慮したい。渋滞対策としては、場内での動線を長めに取るとか、立体と平面の駐車場をうまく組み合わせるなど考えたい。

立派な庁舎を作って、他の分野にしわ寄せするようなことはあってはならない。

◆質問者 7

27年にアンケートの依頼が来たので出した。パブリックコメントも出させてもらったが、結果は公表されているか。

この会場に若い人たちがあまり見られない。若い人達の見解はどう捉えているか。

◆質問者 8

延床面積が18,000㎡になっているが、ITが発達している中で本庁舎と西浦支所を結ぶなどして、庁舎の面積はできるだけコンパクトにしたら良いと思う。

◆質問者 9

一番最初に市長が庁舎を建替えなければと思われたきっかけ、新しい庁舎を作らなければいけないと決意されて、議会で条例を通された、最初のところをよくお聞きしたい。

●市長

若い人達の見解をしっかりと聞いてはどうかというご意見。大変ごもっともなご意見で、こうした会合があと3箇所残っているが、その後、商工会議所、青年会議所、青年部、女性部、老人クラブ、障害者団体などの様々な団体、職域の方々のご意見も頂戴して回ろうと思っている。今、私の耳に入ってくる若い人たちの声は、将来を考え、まちなかをコンパクトシティにしていくべきだという意見。

本庁舎はこれからのITの進み具合も勘案しながら、支所、公民館をもっと充実させ、本庁舎との連絡を密にして、地域の方々の利便性に役立て、本庁舎にかかる経費を少しでも減らしていく。

市長に就任した直後、当時、雨漏りもしていたし、1号館にはエレベータも設置できない状況だった。大事に使ってもいつかは使えなくなり、補助金も一切ない中で、いつかはどこかに作らなければならない。個人的な思いで駅北と言っていることは全くないので

ご理解いただきたい。

図書館については、わっしょい文庫で市内各地を回っており、可能な限り対応させていただきたい。行政が言っている耐震性とは、現在建っている建物の地震に対する耐久性であり、地盤のことまで考えてのことではない。

◆質問者 2

物を売る時代ではないと言いながら、北口では活性化して商業が生まれると言う。市役所や県庁があるところは官公庁で商業の発達した事例を知らない。建物ではなく市道を通して後は民間でというならわかるが、矛盾する考えではないか。

◆質問者 10

懇話会の中の委員さんの意見を聞くと、庁舎の外に民間の駐車場を借りて、そこから歩いて役所に行くという発想があるが、脱車社会を目指しているのか。

コンパクトシティとはどういうものをコンパクトシティと言うか。既に防府市はコンパクトシティだと思われ、改めて、そういうことをやる必要がないと思うがいかがか。

◆質問者 11

立体駐車場になったら、有料の駐車場で、証明を取りに行ったときにもお金がかかることになるか。立体駐車場にすると余計に維持管理費が発生する。駅前に引っ越したら、今ある土地を整理するお金が更にかかると思うがどのように考えているか。

●市長

庁舎と商業の両立については、商売人は商売人でそれぞれ頑張るしか、基本的に発展は難しいと思っている。しかし、まちなかに巨大な投資をする以上、まちの発展に繋がっていかなくてはならない。建てた庁舎の上にホテルを入れたり、老健施設にしたり、マンションにしたりすることも可能ではないか。具体的な案を持っているわけではないが、いろんなプロジェクトを考えたい。

脱車社会のお話は、高齢の方がいつまでもハンドルを握るわけにも行かない。公共交通網の整理も必要になってくるのかなあとと思っている。

駐車場については、民間を当てにしようとしているわけではないが、民間の方があらゆる機会をつかまえて商売の糧にされることもあるのかも知れない。

コンパクトシティの概念については、話せば長くなるので、割愛させていただきたい。

立体駐車場になった場合は、まちなかの駐車場なので、基本的に有料にするのがいいと思っている。時間を考え、2時間とか、会議で4時間、5時間は無料でよいが、市役所に置いてどこかに行くとか、東京、大阪に行くとかいうことが頻繁に起こるようでは困る。ただし、日常の市役所の利便性に不自由をかけてはならない。

現在の市役所の跡地利用については、まちなかの大きな土地を売るようなことをしてはならず、有効活用したい。あくまで仮の話で言うなら、大学の立地用地だとか、その他いろいろな行政需要が起こってくるかも知れない。

私自身は全く焦っていない。4月1日から回り始め、様々なご意見を頂戴しており、それらを整理整頓しながら、団体や職域、年代別の方々、障害団体の方々などのご意見もお聴きして考えていきたい。

現庁舎についてどんなことができるか考えることも、何らやぶさかではない。議会からもそのような話をいただいている。現庁舎を活用した場合どうなるか可能な限りお示ししていきたい。